

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:円)

| 勘定科目 | 本年度決算額 | 前年度決算額 | 増減 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| I. 経常収益 | | | |
| ①受取会費 | 14,459,000 | 16,577,500 | △ 2,118,500 |
| 普通会費収入 | 12,050,000 | 12,762,000 | △ 712,000 |
| 特別会費収入 | 2,154,000 | 3,530,000 | △ 1,376,000 |
| 賛助会費収入 | 255,000 | 285,500 | △ 30,500 |
| ②寄付金等収入 | 1,015,500 | 440,000 | 575,500 |
| ③雑収入 | 128,166 | 196,317 | △ 68,151 |
| 経常収益計 | 15,602,666 | 17,213,817 | △ 1,611,151 |
| II. 経常費用 | | | |
| ①事業費支出 | 16,268,035 | 18,951,172 | △ 2,683,137 |
| ②管理費支出 | 5,002,525 | 5,585,350 | △ 582,825 |
| 経常費用計 | 21,270,560 | 24,536,522 | △ 3,265,962 |
| 当期経常増減額 | △ 5,667,894 | △ 7,322,705 | 1,654,811 |
| 一般正味財産期首残高 | 141,405,015 | 148,727,720 | △ 7,322,705 |
| 正味財産期末残高 | 135,737,121 | 141,405,015 | △ 5,667,894 |

支部だより

渋谷区支部

第二十三回総会開催

コロナ禍のため開催できなかった総会を三年ぶりに六月四日渋谷区代々木の「全理連ビル」に於いて台東区支部、西東京支部各役員、東京都東久留米支部設立準備委員等七名のご来賓をお招きし三十名参加で開催した。

支部会員で法政大学大学院教授の山崎泰明氏による「百歳まで生きるあなた」と題した特別講演が行われた。山崎教授は「元・いちよし証券社長」

ビジネス業界においての豊富な経験と実績に基づいた講演、人生を楽しむ「活動テーマ」を年代ごとに具体的に説明して自分たちはどうしたら良いのかを説き、そして「日本は、世界でも屈指の幸せな国です」との話に参加者一同納得。

全てのご来賓の挨拶に続き、会員全員が自己紹介、十一人の新入会員紹介、今回の特色は八名の平均年齢二十三歳の会員増強に成功できたこと、これにより渋谷区支部の平均年齢が高齢化から若者の支部へさま変わりした。これが成功した要因



山崎泰明教授講演

は石毛義朗支部長と石毛利雄相談役が大学で実際に授業をしてきた教え子たちが善行活動を知り、卒業して社会人になつて、自分たちも日本善行会に参加したいと自発的に入会してくれたものである。

今後この活動を続け、日本善行会の高齢化の流れを、多くの若者が活動ゆきたいと思います。

受賞者の喜びの声

特別表彰

●●金章●●

善行金章を受賞して

東京都板橋区

平岩 宏子



この度、栄えある特別金章を賜り誠に光栄であり、心から御礼申し上げます。我が子が小学一年生

となり初めて授業参観へ参りました折、保護者、学校、生徒の関わりを学び、PTA会長として活動機会をいただきました。それ以来、三十余年様々な環境で日々成長していく青少年の居場所教育にボランティアとして携わってまいりました。現在、立派な社会人となり、笑顔で挨拶、小さな善意の言葉等、人としての道を知り善行の本質を身につけて成長され、うれしく思います。

また、国際交流の一環として各国の留学生を受け入れ二十五年間サポートさせていたいただきました。他国の大学生の世間観も学び小さな親善でございましたが、見えな宝物を沢山中にいた気が持ち心を軸に励みたく思います。

●●銀章●●

皆様に感謝

宮城県仙台市

川島 和子



平成六年にチャリティーを目的として始めた「カラオケ演歌まつり」は、コロナ禍でできない年もありましたが、今年で二十九回になります。会員、舞踏の会、歌の会スタッフの皆様、会場に足を運んで下さるお客様おひとり、ひとりの力に

●●銀章●●

善行銀章を受賞して

東京都練馬区

古谷 妙子

この度、令和四年度春季・特別善行銀章という名誉ある賞を賜り厚く御礼申し上げます。私は、点訳活動を始め

て三十八年になります。きつかけは、主人の転勤で長崎に八年在住していた時、バスに乗り合わせた盲導犬が、ご主人さまの足もとで温くしている姿を見て忘れぬ事が出来ず心に残っておりました。

東京へ戻った際、住んでいる練馬の区報で「点訳講習会」の募集がありました。参加することにしました。

しかしそれは容易なものではありませんでした。点訳本には日本語・英語・数学(グラフ・図形等)等の分類があります。

ちょうど、私が点訳を始めたころ小学四年生で点字の学習があり、資料を持参し、授業の手伝いに出かけました。私が点筆で自分の名前



を打つとあちらこちらから児童の明るい声が聞こえてきました。子どもたちは、実際の点字本の読み書きの速さにびっくりです。時には、盲導犬を同伴し、点字はもとより盲導犬に対する勉強もする事が出来、子どもたちにとつては良い思い出になったことと思います。

また、点字使用の生徒も高学年の点字教材は点訳も複雑となり大変ですが、学習する生徒が理解しやすい表記で作成するように努めています。

台東区支部

令和四年度春季・特別善行表彰伝達式及び支部総会の開催

令和四年六月五日(日)、令和四年度春季・特別善行表彰伝達式を行いました。

今回はコロナの関係もあり、来賓、会員の参加人数を抑えて台東区学習センターで行われました。

轟 豊蔵支部長と日本善行会理事の石毛利雄氏から挨拶をいただきました。

今回は、銀章受賞者一名、春季受賞者個人四名と一団体が受賞しました。表彰式後、令和四年度の支部総会が行われました。

轟支部長の挨拶後、議事に入り令和三年度事業



報告、収支報告、会計監査、令和四年度の事業計画(案)、収支予算(案)が可決されました。

と北橋総合グラウンド周辺において、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団、共愛学園前橋国際大の学生ボランティアと合同の環境美化活動を行いました。

この環境美化活動には、当支部長以下四十四人の会員、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団十六人、共愛学園前橋国際大のボランティア二人の計六十二人が参加し、空き缶やペットボトルのごみ拾いを行いました。

群馬県北毛支部

春の環境美化活動の実施について

去る五月八日(日) 渋川市の利根川河川敷公園



ゴミ拾いの状況

当支部の会員は日頃から、散歩しながらごみ拾いなどのボランティア活動を行っています。令和三年度から同支部の事業活動の一環として、会員融和のため、環境美化活動を計画しました。この環境美化活動は、年二回(春と秋)実施する計画です。

昨年同様、会員全員に環境美化活動実施を通知したところ、大勢の会員はもとより、会員との繋がりのある大同特殊鋼無線赤十字奉仕団から合同参加の申し出があり、また、共愛学園前橋国際大のボランティアの二人からも参加希望の申し出があったことから合同での開催となりました。

コロナ禍のため、検温消毒、マスク着用など感



参加者の状況

染防止には、十分配慮しながら実施したところ、空き缶、ペットボトルなどのごみのほか、大きな古タイヤも拾い集め、その量は、軽トラック約一台分と、思いも寄らない沢山のごみを拾い集めることができて、参加者全員が環境美化活動の充実感と意識高揚を図ることができました。